

(様式1)

令和6年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 042	提案機関名 神奈川県 横須賀三浦地域県政総合センター
要望問題名 小規模養殖手法の開発	
要望問題の内容 【背景、内容、対象地域及び規模(面積、数量等)】 <p>近年管内の漁協より、減少する漁業生産量を補完すべく、カキ類やわかめ、こんぶ以外の海藻類の試験養殖のための漁具敷設許可申請が提出されるようになってきている。いずれも、既存の資材を有効活用して、コストをかけずに行いたいとするものである。</p> <p>県内の海面には、地形的に養殖に適した場所が少ないので、養殖種の選定や養殖場所、規模、資材などを検討し、ローリスク・ローリターン型の小規模養殖手法を確立して全県に普及を図っていただきたい。</p>	
解決希望年限	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	①農業技術センター ②畜産技術センター <input checked="" type="checkbox"/> ③水産技術センター ④自然環境保全センター
備考	

回答機関名	水産技術センター	担当部所	企画研究部
対応区分	①実施 <input checked="" type="checkbox"/> ②実施中 ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可		
試験研究課題名	(①、②、④の場合) 沿岸資源管理・増養殖推進事業費、藻場再生技術高度化試験、混獲小型魚等を活用した養殖技術開発研究		
対応の内容等	<p>既存のわかめ養殖筏施設を活用して、コストを抑えた形で、中間育成3倍体シングルシード種苗を用いたカキ短期養殖試験を令和4年度から実施しております。</p> <p>御要望にあります通り、県内の海面には地形的に養殖に適した場所が多くはありませんが、わかめ筏設置場所は比較的平穏域に設置されており、加えて、台風の被害が少ない11月下旬～6月にかけての半年程度の短期間養殖での出荷サイクルを確立することを目指しております。また、当センターでは藻場再生技術高度化試験において、あかもくの種苗生産を実施しています。当センターが生産したあかもく種苗を横浜市、逗子市、三浦市及び小田原市の漁協に供給し、各地においてはわかめ養殖に用いる既存の資材を有効活用してあかもくの養殖試験に取り組んでいます。今後も各地の要望を取り入れ、あかもく種苗を供給するとともに各地域に応じた小規模養殖手法についても検討して参ります。</p> <p>また、県内での養殖業の振興のため、令和5年度より新たに魚類等の短期養殖技術開発に着手することとしました。今後、試験の結果を踏まえ、ローリスク・ローリターン型の小規模養殖の実現可能性についても評価してまいります。</p>		
解決予定年限	①1年以内 ②2～3年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ③4～5年以内 ④5～10年以内		
備考			